※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新選歴史総合」（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代の歴史的な諸事象を学びながら、現在の日本や世界がどのように形成されていったのかを学びます。また近現代の歴史を通して、現代におけるさまざまな課題が形成されていった原因を追究し、現代社会の諸課題についてどのように解決していけばいいのか考えていきます。そのため、教科書の内容のみならず、新聞やニュースなどを通して、現代におけるさまざまな課題に日ごろから関心をもつようにしてください。また、歴史をテーマにした映画やドラマ・文学作品・アニメなどにも親しみや学びを深めるとより一層歴史の理解が深まるでしょう。

２　学習の到達目標

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，日本の歴史や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歴史の扉	１節 歴史と私たち ２節 歴史の特質と資料	a：私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 b：近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し，表現する。・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現する c：科目全体の学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※令和４年度以降入学生用

	近代化と私たち	１節 近代化への問い ２節 結び付く世界と日本の開国 ３節 国民国家と明治維新 ４節 近代化と現代的な諸課題	a：18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，工業化と世界市場の形成を理解している。 b：18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的･多角的に考察し，表現している。 産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的･多角的に考察し，表現している c：近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※令和４年度以降入学生用

2	国際秩序の変化や大衆化と私たち①	１節 国際秩序の変化や大衆化への問い ２節 第一次世界大戦と大衆社会	a: 国際関係の緊密化, アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭, 植民地の独立, 大衆の政治的･経済的･社会的地位の変化, 生活様式の変化などに関する資料を活用し, 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 日本の参戦の背景と影響などに着目して, 第一次世界大戦の性格と惨禍, 日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的･多角的に考察し, 表現することを通して, 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 b: 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的･多角的に考察し, 問いを表現する。 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制についてどのようなものだったのかについて, 諸資料から読み取り, 多面的・多角的に考察し, 表現する。 c: 第一次世界大戦に関わる諸事象について, 見通しを持って学習に取り組もうとし, 中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※令和４年度以降入学生用

	国際秩序の変化や大衆化と私たち②	３節 経済危機と第二次世界大戦 ４節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	a: 世界恐慌が発生した原因とそれに対する各国の対応について理解する。 第二次世界大戦の勃発、アジア太平洋戦争展開と日本の敗戦、戦後の国際秩序形成について理解する。 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 b: 経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点を基に主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的･多角的に考察し，表現する。 c: 第二次世界大戦に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※令和４年度以降入学生用

3	グローバル化と私たち①	１節 グローバル化への問い ２節 冷戦と世界経済	a:冷戦の拡大と核開発、宇宙開発競争や、第三勢力の台頭について理解する。 アジア・アフリカにおける脱植民地化の動きと、それらの地域で起こった紛争について理解する。 冷戦が各国経済に及ぼした影響, 地域連携の背景と影響, 日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容など世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 b: 冷戦と国際関係, 人と資本の移動, 高度情報通信, 食料と人口, 資源･エネルギーと地球環境, 感染症, 多様な人々の共存などに関する資料を活用し，グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的･多角的に考察し, 問いを表現する。 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し，表現する c: 冷戦と世界経済に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化と私たち②	３節 世界秩序の変容と日本 ４節 現代的な諸課題の形成と展望	a: 先進諸国において，近代的な価値観を問い直す動きが現れ，価値観の変容が生じたことについて理解する。 b: 冷戦終結後，旧東側陣営や中東を中心に起きた地域紛争や，各地の紛争解決に向けての国際連合やアメリカ合衆国，日本などの動きについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c: 科目のまとめとして，現代的な諸課題に関する主題を設定し歴史的経緯を踏まえて，持続可能な社会に向けて，現代的な諸課題の展望を探究する。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度